



ICT だより

情報教育通信 No.2
2021年(令和3年)
6月28日(月)

導入するアプリ・システムについて

Chromebook を学習に活用していくにあたり、様々なアプリケーションやシステムを導入していきます。校内で使うものだけでなく、家庭学習においても活用できるものがありますので、使い方と合わせてご紹介します。



学校でつかいます

- ロイロノート（ブラウザで使用するため、ご家庭でも活用できます）
子どもたちが、端末を使って、自分たちの考えを書きこんだり、意見を書いたシートを先生や友達に送ったりすることができます。先生の端末で、児童が書いたシートを一度に見たり、比較したりすることができます。子どもたちが、手に入れた資料を繋げていくと、プレゼンするための資料を簡単に作ることもできます。



画像のように、児童の考え方一度に見ることができます。

ご家庭でもつかえます



- Google Classroom
掲示板（ストリーム）を使って情報の共有をしたり、先生から児童に課題を配布したりすることができるオンライン学習システムです。「Google Meet」というビデオ電話ツールを使えば、休校になった場合でも、オンラインで会話をしたり授業をしたりすることができます。
- Qubena（キュビナ）
児童一人ひとりの習熟度に合わせて最適な問題を出題する AI 型タブレット教材です。タブレット端末とインターネット環境があればどこでも学習できます。先生用の管理画面では、児童の学習がどのように進んでいるか確認することができます。
今後、朝学習の時間や掃除後の学習、家庭学習に取り入れていく予定です。
- 福山市電子図書サービス
端末の導入にあたり、福山市図書館が提供している電子図書サービスを、市立の中学生全員が利用できることになりました。児童一人一人に割り当てられた ID とパスワードを入力すると、児童の端末で電子図書を借りることができます。利用は無料です。利用の仕方は、別紙の「利用開始手順」をご覧ください。
- おうちで学ぼう！NHK for School
児童の端末には、NHK for School のアプリが入っています。NHK for School では、学習に関する動画や教材を見ることができます。ご家庭でのすきま時間に見たり、授業の予習などに使ったりすることができます。

ここで取り上げたもの以外にも、この先、様々なアプリやシステムが導入されていきます。学校や家庭で有意義に活用できるよう、取り組んでいきます。